

# 令和元年度 第2回萩市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和元年11月19日（火）14：00～16：00

場 所：萩市役所 大会議室

## 1. 開会

【事務局】定刻になりましたので、ただ今より、第2回萩市地域公共交通会議を開催致します。まず、委員26名のうち、代理出席も含め21名の委員に出席していただいておりますので、会議の成立要件を満たしていることを報告致します。

また、会議は前回と同様に公開とし、議事録等についても基本的にHP等で公開とさせていただきますので、ご了承をお願い致します。

## 2. 会長あいさつ

【会 長】本日は、委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして厚くお礼申し上げます。本日が令和元年第2回目の交通会議となります。交通網形成計画の策定では、今回が第6回目の交通会議となりました。

これまでの委員の皆様のご尽力により、9月に萩市地域公共交通網形成計画(案)が完成し、その後パブリックコメントを実施することが出来ました。

本日は、計画案の最終版としてご提案することとしておりますが、パブリックコメントの実施結果や前回会議でご意見いただいておりますので、その修正点を確認頂きたいと存じます。

また、ご承知かと思いますが、防長交通株式会社で運行しています市内3路線について、運転士不足により存続できない旨申し出がありました。存続に向けて協議してりましたが、先般、関係する地区の8会場にて地元説明会を行い、様々ご意見頂いたところです。

生活路線の代替手段確保については、鋭意検討を進めておりますますが、過疎地域は、公共交通の維持確保にかかる担い手不足の状況もあり、住民主体のコミュニティ交通、きめ細かなネットワークの構築が重要と考えています。

本日は忌憚のないご意見をいただき、よりよい計画となるよう努めてまいりたいと思います。

## 3. 議事

(1) パブリックコメントの実施結果について（資料1）及びパブリックコメントを含めこれまで頂いたご意見を受けた計画書の修正箇所について

【事務局】資料1、資料2に基づき説明（省略）

【会長】 ただいまの事務局からの説明に関して、ご意見やご質問がありますか。

【川上地域住民代表 横山委員】 計画書(案)P105に目標値10団体とあるが、想定するのはどのような団体か。

【事務局】 想定として、萩市では、住民主体の支え合いを進めており、これらの団体などへ自家用旅客有償運送のお声掛けをし、可能な団体については支援を行っていく考えである。事務的作業を含めて支援を考えている。

【山口県バス協会 藤原委員】 計画書(案)P104について、交通系ICカードの導入が令和3年度からとなっているが、令和2年度から導入を進めて行く交通事業者がおり、ズレがあるのでは。

【事務局】 予算等事務的な導入スケジュールは令和2年度で、実際の稼働が令和3年度として記載している。

【川上地域住民代表 横山委員】 行政のやり方として、ホームページに掲載すると言われるが、萩市の住民で、家にパソコンがある世帯は何パーセントあるのか調べているのか。

【事務局】 市内の世帯でパソコンを所持している状況は不明。

パブリックコメントについては、ホームページだけでなく、総合事務所等の窓口でも閲覧、意見提出が可能となるよう行った。

意見提出の状況から、ホームページより、各窓口で閲覧頂いた方が多かったのではないかと思っている。

【山口大学 榊原副会長】 計画策定としては今回が最後の会議となるが、来年度の実行計画について、地域公共交通会議にかける必要がある案件などは、来年度の10月のダイヤ改正を踏まえると時間が無いと考えるが。来年度の実行スケジュールはいつ頃示せるのか。

【事務所】 次回の交通会議は2月頃を予定しており、来年度事業をお示ししたいと考えている。

また、防長交通の廃止代替路線については、出来るところから前倒しで取り組んでいこうと考えている。

【萩地域住民代表 稲原委員】 計画書の概要版について説明願いたい。

また、計画期間はいつまでか。

【事務局】 概要版は、計画の要素を抜き出したものである。見開きで計画の流れを示しており、左上に計画の目的、左側に調査から明らかになったこと、課題を書いている。中央には課題解決のための施策を中心に描いている。特に幹線と枝線とで暮らしを支えるという形で将来像を示している。右側に具体的な施策として、基本方針と推進施策としてまとめている。目標値を指標としてチェックしていくという流れである。

【萩地域住民代表 稲原委員】 令和2～6年度が計画期間ということか。

(案)は令和6年度に取れるということか。

【事務局】 計画の期間は、令和6年度までの5年間である。

(案)は、本日、ご了承いただければ(案)が取れ、市民の皆様にお示しすることになる。

【萩地域住民代表 稲原委員】 市議会との関係はどのようになっているのか。

【事務局】 市議会には本日の会議後に報告させて頂く。市議会には、以前から計画策定についてご説明させて頂いている。

【山口県バス協会 藤原委員】 計画書(案)P10について、現状であれば萩市の財政負担が増えるという話があるが、計画策定後に負担が減るという試算はあるのか。

【事務局】 試算については、今後の状況が変化する可能性があり、行っていない。今後、毎年の事業計画と事業に伴う予算の中で議論していきたい。

【中国JRバス 河内委員】 計画書(案)P95について、乗務員不足は深刻な状況であり、弊社でも大型二種免許取得支援を行っているが、ここに記載されている事業所しか取り組みを行っていないように見えるため、表現を変更できないか。

【事務局】 変更する。

【山口運輸支局 秋本委員】 計画策定前の最後の会議ということで、お願いをしたいことを申し上げるが、現状分析から、これからの施策について記載があるが、持続可能なものにするには、市民の皆様公共交通を利用してもらうことが肝心であり、日々の利用促進が大切である。

計画書(案)P106にある様に、PDCAが重要である。引き続き関係者の皆様にはよろしく願いたい。これからがスタートである。

【事務局】 利用促進については、計画している施策のみならず推進していこうと考えている。

【萩地域住民代表 稲原委員】 計画書(案)P92のポンチ絵があるが、まーるバスの行き先が市民病院となっているが、都志見病院には乗り入れないのか。

【事務局】 都志見病院にも既に乗り入れている。ポンチ絵については、例として記載しているもの。

【川上地域住民代表 横山委員】 先日、路線バスを利用した際、運転士さんと話したが、大型二種免許を取得するのに60万円かかると言われていた。若い方の場合、容易に取得はできないと思う。手厚い補助が必要なのでは。

運転士さんは70歳近くになってもやめられないと言われていた。

【会長】 運転士の確保について、各バス事業者からご意見を賜りたい。

【防長交通 斎田委員】 本社では、大型二種免許の取得費用を貸付の形で支援してお

り、貸付後、3年間離職しなければ貸付の返済は求めないという支援制度。

横山委員が、“70歳までやめられない”と言われていたが、“辞めさせない”というのが現状である。

人員は1割程度が不足しており、現在、320人の運転士がいるが、今後5年間で50人が減少していくこととなる。

運転士で最も多い年齢層は66歳以上という状況であり、今後はその年齢層が辞めていくことになるが、どうにか人員を確保しなければならないので、例えば、スクールバスのように、朝夕のみ運行だけであれば70歳代の方でも運転が可能であるため、そのようなことに取り組んでいる。

根本的な原因は、目移りする職種が他に多いこともある。萩の場合は他の職種が少ないため、何とか運転士確保をしているが、他市ではトラック運転手などに取られている。また、今の若い方が入社しないのは、土日が休みでないこと、勤務が不規則であることが要因であると考えられる。近年の世帯では、共働き世帯も多く、勤務が不規則だと子供の送り迎えなど、家庭内でのやり繰りが出来なく、現代のライフスタイルや価値観に合わなくなっている。

また、賃金面で魅力が少なくなったこともある。

今回路線廃止で各地域の皆様にはご迷惑をお掛けした。ギリギリまで頑張ったが、お手上げ状態となった。

**【中国JRバス 河内委員】**乗務員不足は深刻。鳥取県以外の4県で営業しているが、一番影響が大きいのが広島県内で、その次に山口県内の乗務員不足が顕著である。また、入社しても長続きせず、定着率が低い状況ため、平均年齢は高くなっている。支援制度を行っても定着せず、社員からの紹介を行っても集まらない。

路線廃止までの状況には至っていないが、減便ということをお願いをする事態になる可能性も考えられ、厳しい状態は他社と変わらない。

**【石見交通 渡辺委員】**乗務員不足は深刻。当社の運転士の平均年齢は55歳であり、70歳まで働いてもらっている状況。また、免許取得支援も行っている。

萩市に関わる部分では幹線を担っていることもあり、現段階で減便等の状況は無いが、他市では減便の可能性も考えられる。

**【山口県バス協会 藤原委員】**各事業者とも厳しい状況である。鳥取県の方では、採算が取れないのではなく乗務員が不足し、路線が廃止になったという路線の例もあった。3億円の補助金を9億円にしたとしても難しかったと聞いている。結局は貨物運送事業者が路線を引き継いだという事例。

今回、計画を作成されたが、結局は地域住民の方々が、公共交通をしっかりと利用して頂くことが必要であると考えられる。

行政には各地域へ状況を説明してもらうことも必要だと考える。

**【事務局】**利用促進については、計画書(案)P96にあるとおり、自分たちの移動手段を自分達で確保していくということも支援し、一緒に考えて頂ければと考えている。是非ご協力をお願いしたい。

**【むつみ地域住民代表 大田委員】**むつみ地域の民生委員も携わっており、本日、民

生委員会があったので、委員の皆さんに公共交通の利用について聞いてみたが、地域を巡回するぐるっとバス、または防長交通のバスに乗っていない。

むつみ地域を代表して申し上げますと、地域には眼科や整形外科の専門医療が無いため、バスが無ければ通院は難しい。むつみ地域のぐるっとバスが、こういった運行体制なら良いか、民生委員の皆さんにも、自らがぐるっとバス等を使ってみたら状況が分かると言ってきた。

また、店舗も殆ど無い地域であるため、土日になれば豆腐一つも買えない。運転ができなくなったら本当に困るのではないかと考える。

**【事務局】** 住民の皆さんと一緒に考えるということが続けることで、良い方向、持続的な方向に進むと考える。

お話いただいたように、地域で考えていくことをむつみ地域ではじめて、各地に広がっていければと考える。

**【山口大学 榊原副会長】** 運転士不足が問題で、5年間の計画を執行できない例もある。宇部市などでは減便も出ており、計画していた水準を維持できないこともある。また、タクシー事業者も苦勞していると伺っている。お金で解決できる状況ではないということ。

住民の支えあい交通という新しい手段も模索することは重要である。ただ、これまでやってこなかったことであるため、行政の技術的支援が重要である。地域で考え、実行していく中で、行政の支援が必要である。住民と行政の役割分担をお願いしたい。

また、利用促進に関しては、路線バスに加え、JRの利用促進も必要と考える。萩市においては、特に田万川地域や須佐地域方面について、重要な移動手段であることから、積極的に利用してもらいたいと考える。

**【会長】** それぞれのご意見、ありがとうございます。いただいた意見も踏まえ、今後、施策を実施できればと考えています。

他の意見が無いようですので、萩市地域公共交通会議設置要綱第4条第6項の規定により採決を行います。

本計画について、承認することとしてよろしいでしょうか。また、字句訂正や軽微な表現の修正については、会長に一任していただいてよろしいでしょうか。承認される方は挙手をお願いします。

(挙手・拍手)

ありがとうございます。全会一致でご承認をいただきました。

本日の協議をこれで終了いたします。

**【会長】** これを以って正式な計画となる。今後も当会議で皆様のご意見を頂きながら5年間の計画を進めていきたいので、引き続きよろしくをお願いしたい。

#### 4. 閉会

**【事務局】** ご承認、ありがとうございます。また、平成30年4月から、長きに

わたり計画策定に向け議論をいただき、誠にありがとうございました。

本計画は12月に公表し、概要版については精査して各町内会長や関係機関に配布して、周知を図りたいと考えています。

事業の実施や達成状況も適宜協議頂ければと考えております。

次回の会議は2月の開催を予定しております。

以上をもちまして、令和元年度第2回萩市地域公共交通会議を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。

以上